議会だより たかちほ

NO.81 2014 1・23

宮崎県高千穂町議会

頼もしいの～(平成26年消防出初め式・分列行進)

1.いろいろ意見がでたよ!!
(議会報告会)……4

2.累積赤字が10億円超に
(観光６施設)……6

3.新シリーズ始まる……10

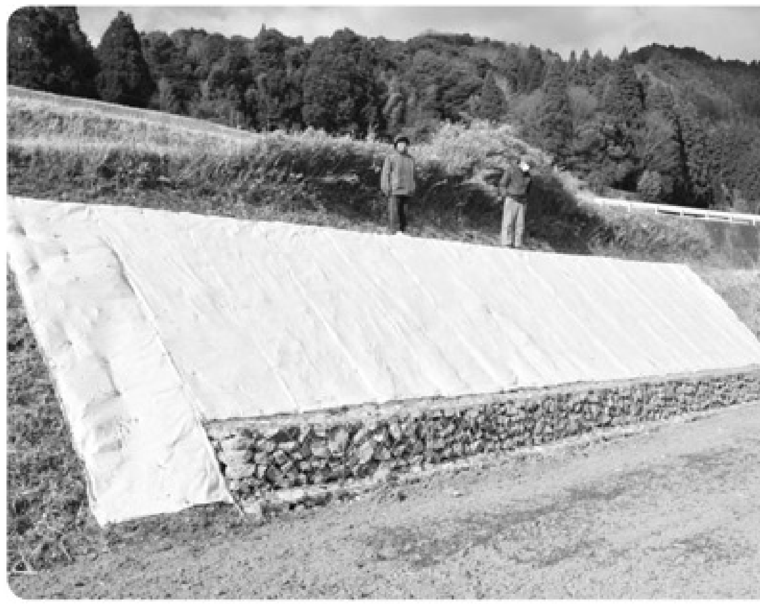
災害復旧費を減額

総額は85億273万円に

12月定例会は、補正予算議案5件、人事案件1件を審査し全議案、原案どおりに全会一致で可決しました。

一般会計補正予算歳入は、国庫補助金の6769万円の増額が主なものです。

歳出は、災害復旧費1341万円が主な減額で、災害申請時点の見積額と査定後の事業費の差です。



今年も安心して田植えができるばい

〈国民健康保険特別会計〉

歳入は国庫補助金の財政調整特別交付金が主なもので、514万円の増額です。

歳出は同額を病院事業会計へ繰り出すものであり、総額は21億5123万円となります。

〈簡易水道事業特別会計〉

歳入は、使用料及び手数料の115万円が主な増額です。

歳出は、水道維持管理補助金で152万円が主な増額です。

総額は6680万円となります。

〈介護保険特別会計〉

歳入は、国庫補助金211万円と一般会計繰入金216万円で445万円が主な減額です。

歳出は、総合相談事業見直しによる、人件費の減額が主なものです。

総額は13億4827万円となります。

〈下水道事業特別会計〉

歳入は、分担金及び負担金と、他会計繰入金で260万円が主な増額です。

歳出は、管渠布設工事と、施設管理費の増額が主なものです。

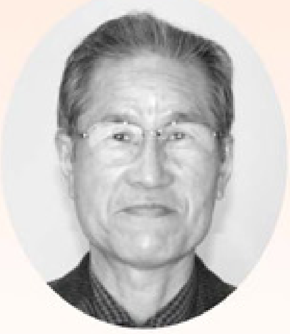
総額は1億8617万円となります。

適任と認める

相談にのっての～

人権擁護委員

「相談は無料です」



三田井地区　2期
興梠　純一氏

押方地区　2期
甲斐　伸子氏

岩戸地区　2期
矢野　恒子氏

これが聞きて～っ

農地の荒廃が心配

質疑 現年発生の農地災害復旧工事は、申請当初より減少している。

未復旧地が増加すると農地の荒廃が心配されるが。

答弁 工事費が、10万円以上40万円未満で、自己復旧される場合は災害見舞金で対応を考えているので心配ない。

農地は荒さんぞ～

町有地整備費の使途は

質疑 町有地整備工事費356万円の使途は。

答弁 三田井尾迫原にある元町営プールは水を張っていない状態である。

安全性を考え更地にし、駐車場として活用する予定である。

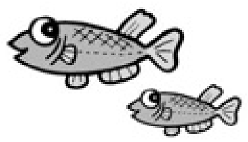
更地にすれば安心たい（元町営プール）

魚売り払いの歳入増額は

質疑 高千穂峡の養魚場で、ニジマスの売り払い収入と淡水魚水族館の入場料が増額となった要因は。

答弁 6月以降天候に恵まれたことによる宿泊業者のニジマス利用増と、観光客の入り込み増である。

どんどん食べての～（魚の選別）



「秘密は守ります」

人権擁護委員は、町長が推薦し議会に意見の答申を求めます。

法務大臣から、委嘱を受け人権に関する相談を行っています。

「悩み」や「困り事」は気軽に、地域の人権擁護委員にご相談ください。

上野地区　1期
工藤　直人氏

田原地区　1期
佐藤三千代氏

向山地区　6期
三田井俊哲氏

議会報告会　平成25年11月27日～12月6日

町民の声を議会へ

いろいろ意見がでたよ!!

ダイジェスト版

5会場に142人参加

「議会運営と町民連携のもと、議会本来のチェック機能を低下させないこと」「政策立案を含めた、議会の意識及び資質の向上と議員の行動の指標」が必要なことから、平成21年3月に県内で初めて議会基本条例を制定しました。

この条例に基づき平成21年度から各地区で議会報告会を開催しています。

これまでの参加人数は、21年度256人、22年度163人、24年度177人です。

本年度は11月27日から12月6日まで5カ所で開催しました。

はじめに平成24年度一般会計決算、25年度一般会計予算、道路整備状況、広域消防と火葬場の整備、農林振興課、農地整備課関係事業を報告し、そのあと質疑応答、意見交換を行いました。

報告会で頂いた、町行政に対する要望・提言は、全員協議会で共有し、報告書を作成、各関係課への周知と対応について、町長へ文書で要請を行いました。

岩戸地区
（天岩戸出張所）

問　岩戸地区の小中学校改築検討委員会の進捗状況は。

答　小学校は中学校に建設するという最初の予定であったが、保護者などの意見を尊重し、検討委員会で話し合いを進めている状況である。

中学校は50人そこそこで運動会、部活等も成り立たない状況であり、保護者から早く高千穂中学校と一緒にしてほしいという意見が多くあったので、その方向で進んで行くと思う。

委員会は現在第4回が終了し、あと1～2回開催される予定であり皆様の意見を反映させたい。

問　岩戸地区には介護施設がないのでつくってほしい。

答　町へ陳情を行った経緯がある。

今年度は介護保険など見直しの年であり、施設のあり方がどうなるのかを、行政、民間を含め協議をし要望して行きたい。

岩戸地区

押方・向山地区
（丸小野公民館）

問　各公民館とも、少子高齢化に伴い町道の草刈り、支障木の伐採など管理が年々難しくなってきている。

町で管理してもらえないか。

答　町道管理については、公民館の方々に大変お骨折りをいただいていることは重々承知している。

建設課へは、館民が少数、高齢化となっているところは、下請業者などにさせることはできないかと要望しているが、まだ答えがでていないのが現状である。

できる限りそうなるよう行政に要望していく。

県道については、西臼杵支庁へお願いする。

問　生コン舗装は地割れが生じやすいので、アスファルト舗装に改善していただけないか。

答　行政へ要望として申し入れする。

押方・向山地区

問　高千穂温泉、天岩戸温泉、温水プールは大きい赤字となっているが、高齢者の方々にも来ていただくために電気風呂の設置はできないか。

答　観光客を含め一人でも多くの方々に利用していただくためにも企画観光課へ要望していく。

上野地区
（上野出張所）

問　上野体育館は、屋根など大変傷んでいるようだが、具体的な改修方法は。

答　今年度、階段の手すりの改修を行っている。

屋根の雨漏り修理もお願いしているが予算的に厳しいということである。

引き続き要望していく。

問　簡易水道事業が町営になるという話が2～3年前にあったが、現在どこまで進行しているか。

答　簡水は現在26施設あり、全施設から統合について賛同をいただいた。

天岩戸、河内簡水の2地区が上水道と同様の管理体制で実証実験を行っている。

諸問題を解決し、平成28年度以降に全地区を移行するという計画である。

問　少子、高齢化に伴い小さな公民館では公民館の維持ができなくなっているが、公民館の統合を推進すべきではないか。

答　町内には56の公民館があり、向山、押方、河内地区には11～18世帯で一つの公民館というところもあり、維持が厳しくなっているのが現状である。

地元の意向を優先し、行政側からの指導が難しいということなので、館長会を中心にして館民の方々と話し合いをしてほしい。

上野地区

三田井地区

三田井地区
（中央公民館）

問　高千穂日之影道路工事の土捨場が温泉下になっているが、病院もあることであり、他の場所へ移動の考慮はできないか。

答　地元の方からも要望を聞いている。

現在の場所は仮置場として利用しており、折原の第2グラウンドの芝生化工事が終了すればその奥が買収してあるので、そちらへ運ぶことになっている。

問　以前の町広報紙で、税の滞納は許さないという口調の記事が載っていたが、その後どのようになったか。

答　税は公平に納めていただくのが基本であり、滞納について議会は、徴収率のアップを強く要望している。

税務課でも預金の差し押さえなどを行い徴収に努力している。

データ的にも以前に比べると平成23、24年の滞納額はかなり減っている。

田原地区
（田原出張所）

問　高千穂町として、新たな税の確保をどうするのか。

答　企業誘致とかあれば働く場所があり、法人税なども入ってくるが、簡単に来てくれるような状況ではなく、来てもらうためには、輸送コストを軽減する道路整備などが必要であり今後とも努力をしていく。

田原地区

問　人口は減少し、少子、高齢化は進み、若い人もなかなか結婚もできない。今後、20年30年先を考えると、介護が必要となった時、誰がみるのかということを、町は財政的にも考えないといけないのではないか。

答　全国的に中山間地は少子高齢化が進み、高齢化率は30～31％で今後の大きな問題である。

議会でも毎年問題となり議論になるところであるが、なかなか解決策が見つからないのが現状である。

今後も真剣に対応に取り組んでいく。

主な要望・提言

農林業関係では、耕作放棄地防止など7件。

農地整備では、用水の整備など2件。

企画観光では、温泉施設関係など11件。

建設では、町道の維持管理など7件。

教育では、公民館統合など7件。

福祉では、介護施設の設置など2件。

税務では、税の滞納など2件。

財政では、財政状況など2件。

今後とも**「町民に開かれた議会」**、**「町民参加を推進する議会」**を目指して懸命に活動します。

観光6施設はH3年度からの累積で

2温泉・プール・水族館・養魚場・四季見原キャンプ場

▲10億円越え

- H6．4．　天岩戸温泉 ｝オープン
- H8．12．　温水プール ｝オープン
- H10．4．　高千穂温泉 ｝オープン
- H12．1．　・高千穂温泉の入場者30万人達成

↓

H13．3．
- ・温水プールの運営では、医療との連携を図り改善せよ

経営コンサルタント会社に診断を依頼

↓

H15．6．
- ・レジオネラ騒動により、温泉の利用者が減少

H15．9．
- ・温水プールは開設5年目で累積赤字9，500万円
- ・料金の見直しはできないか

↓

H16．12．
- ・6施設の年間赤字9，000万円温水プールにトレーニングルームを設置

↓

H18．9．
- ・6施設で年間8，000万円の赤字
- ・高千穂温泉をヘルストピアにできないか
- ・四季見原に森林浴場を作れ

高千穂温泉

天岩戸温泉

温水プール

四季見原キャンプ場

しんから追跡リポート

あん時(とき)ん事(こつ)はどげなった？

H18．9．
- ・議会は温泉施設の運営に関する調査特別委員会を設置

↓

H19．6．
- ・議会の意見として、泉源の湯量が減少しており、2つの温泉の運営は厳しい
- ・一本化を検討すべきだ
- ・町は具体的な方向を示せ

↓

H19．12．
- ・調査特別委員会の最終報告として
  - ①2つの温泉施設を1つに
  - ②施設の用途変更か、もしくは指定管理者か民間委託に

↓

- H20．9．｝・決算審査の付帯意見として観光6施設の経営改善を求める
- H21．9．｝
- H22．9．｝
- H23．6．　・温泉施設の運営方針を示せ
- H23．9．　・早急な経営改善を図れ

↓

25年度中に両温泉・プールの料金見直しを検討

養魚場つりぼり

淡水魚水族館

温水プール2F トレーニングルーム

温水プール 1F トレーニングルーム

しんから聞くばい!!

一般質問

町長に3人が質問

一般質問は議員の日常活動や考え方に基づき、町長もしくは教育委員長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分一問一答方式で町長などの基本方針をただすもので、町政全般について自由な質問が許された議員の権利です。

本町の平成25年定例議会の平均質問者数は4人で、町政発展に関わる質問を活発に議論しています。

議会だよりは紙面が限られているので、原稿は1人600字以内に制限しています。

町民のみなさんの傍聴をお待ちしています。

飯干清喜議員

山村維持対策は

町長 支援事業を活用する

問 近年、国・県では盛んに林業活性化や里山事業が推進されているが、森林組合や林業会社向けである。

本町も、町民希望者で里山管理団体などをつくり、山村維持や林業活性化を図るべきではないか。

町長 森林、山村の多面的機能支援事業が創設されている。

これを活用し、ミニユンボやチェーンソー、薪ストーブの購入支援ができると思われる。

山村維持につながるよう町民に情報を周知する。

公衆トイレの管理費は

町長 観光協会と協議する

問 観光客も利用する公衆トイレの整備が進み、観光客が増加傾向である。

喜ばしいことだが、設置、管理には多くの費用が掛かっている。

高千穂・岩戸神社が、維持・管理費を一部負担しているのであれば、観光協会にも一部負担があってもいいのでは。

町長 高千穂・岩戸神社とも、境内にトイレが設置されているので年間の維持管理費相当額の半額を、負担していただいている。

観光客以外の不特定多数の方が利用するので、設置者が維持管理するものと考えている。

観光協会にも、町民の意見として伝え検討していく。

あったけぇばい!!

本願和茂議員

身近な使いやすい事業へ

町長 関係機関へ要望する

よかべべ産んでくりよ

問 新規就農総合支援事業を、地域の力で身近な使いやすい事業へと変えていく必要があると考え、次の点について問う。

本事業で審査を受け、対象外となった方から、対象条件のハードルが高いとの意見をよく聞くが、どのような考えか。

町長 5年以内に継承する場合は、審査通過時点から対象としているが、親元で6年以上の就農者は対象外となっている。

補助対象条件は、独立・自営就農などが絶対条件である。

問 今後、条件の緩和など必要ではないか。

町長 国の事業・要綱に従って対象者を決定している。

経営継承者の対象条件の就農開始条件については、関係機関へ要望する。

問 意欲があるにも関わらず対象とならなかった場合、多面的にフォローする体制はできているのか。

町長 今のところ、非該当者への独自の支援は行っていない。

問 事業終了後、対象者へのフォローアップ計画は。

町長 終了後も3年間、就農状況報告の必要があり関係機関と連携し、指導・支援を行う。

折原第2グラウンドの使用方法は

町長 関係機関と協議を重ねる

問 スポーツ振興、健康増進の多目的広場としてはもちろんのこと、操法訓練などにも使用できると期待をしているが、協議されているのか。

町長 平常時には多目的広場として、大規模災害時には後方支援拠点施設としての役割も考えている。

操法訓練場としての使用についても今後、関係機関と協議を重ねる。

坂本弘明議員

共同加工施設の設置を

町長 設置検討が必要

問 11月に熊本市で企業との商談会が開催され、町内の加工グループ「梅の実会」「もちばる工房」「朝霧」「山の学校ルート50」の4団体が参加された。

商談会では、企業側から1ロット、1000から2000単位の商品依頼があったが、全グループ1ロット、50程度の生産が限界であり商談を断られている。

今後、貴重な販売ルートを確立していくためにも次の点が重要と考え質問する。

現在、JA高千穂地区の野菜集荷場では大量の規格外品が廃棄処分されている。

販売はできなくとも、加工用として使える野菜があるのであれば、JAと連携を図り、共同加工施設の設置はできないか。

町長 本町でも農林産物の加工・販売や農家レストランなど、6次産業化が拡がりをみせている。

農家所得の向上や地域活性化につながるため、大きな期待を寄せている。

昨年には、高千穂町農産物加工連携会議を立ち上げ、高千穂ならではの農産物を使った加工品の開発や研修会を行っている。

本年度は、品物の販売促進活動を行っているが、個人のため数量確保に限界がある。

今後は、生産者・JA・行政が一体となって知恵を出し合い、規格外品の有効利用と加工施設の設置検討が必要である。

期待が寄せられる加工商品!!

高千穂町議会広報

■発行・高千穂町議会
■編集・議会報編集委員会

〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13
☎(0982)73-1219

たかちほ女性シリーズ 笑顔 元気

せりだそ屋

下野西集落協定の楽しい仲間達です。

楽しい仲間達

江藤むら子さん、江藤節子さん、甲斐加代子さんの呼びかけに応じて立ち上げられた「せりだそ屋」は、昨年の12月で3周年を迎えました。

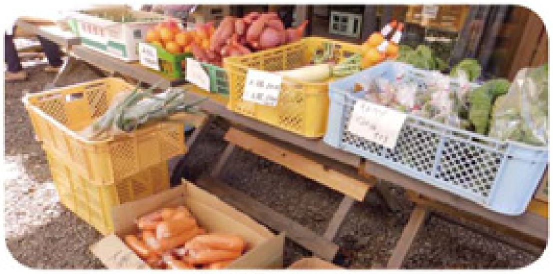
集落の皆さんが集まって、楽しいおしゃべりができる、憩いの場にもなっています。

どんな店か聞いてみました。

なぜ、店を出そうと思われたのですか

3人で、集落の皆と元気のでる村おこしはと考えていた時、自宅で作っている食べきれない、野菜や米など店頭販売しないかとの話がありました。

それならば無理せずやれると思い決断しました。


新鮮野菜で～す

せりだそ屋とつけられた理由は

皆さんから募集し、普通ではなく、はみだすぐらい繁盛させたいとの思いでつけました。

お勧めの品物は

季節の新鮮野菜、キンカン、米、コンニャク、茶、花などなど。

にぎあう店内

せりだそ屋を立ち上げて良かったことは

今まで仲間と道で会っても、短い言葉を交わす程度でしたが、今は話題も尽きず、ヘソクリも増えました。

何か始めようと、思っている女性に一言

一歩踏み出す勇気を。やってみれば楽しいですよ。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は2月28日開会予定です。

傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL73-1219
（議会事務局直通）

編集後記

本誌が、町民の皆様の手元に届く頃には、輝かしい新年を迎えられていることでしょう。

本年も、町民目線の、議会活動をしっかり掲載し、町民に愛読される紙面づくりに、心掛けてまいります。

まだまだ、寒い日が続きますが、健康第一！仕事にガマ出して、楽しい人生を満喫しましょう。

老若男女の皆さん、餅の食べ過ぎ喉詰まりには、くれぐれもご注意を！

K.H記

発行責任者
議長 佐藤定信

議会報編集委員会
委員長 工藤博志
副委員長 本願和茂
委員 富髙友子
委員 坂本弘明
委員 佐藤久生
委員 中島早苗